授業科目　身体障害作業療法学Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	作業
貝淵正人　能村友紀	開講時期	後期	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：ＧＩＯ】

作業療法の対象となる身体障害者の心身機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、その治療理論及び治療・支援技術の概要を学ぶ。

【行動目標：ＳＢＯ】

1. 身体障害作業療法の守備範囲について説明できる。
2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害について説明できる。
3. 身体障害に関して国際障害分類（ＩＣＦ）が適用できる。
4. 中枢神経疾患と末梢神経疾患の障害像の違いが説明できる。
5. 代表的疾患に関する作業療法の概要を説明できる。

日程	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	身体障害作業療法概説（対象疾患と障害の特徴、治療対象となる障害）	1	講義、貝淵
2	脳血管障害：異常筋緊張、連合反応、共同運動、姿勢反応、平衡反応、異常知覚	2	講義、貝淵
3	中枢神経疾患と神経伝達物質	3	講義、貝淵
4	脳血管障害：評価	4	講義、貝淵
5	中枢神経疾患：運動・知覚機能代償	5	講義、貝淵
6	中枢神経疾患：運動・知覚機能代償	5	講義、貝淵
7	脳血管障害：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、貝淵
8	脳血管障害：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、貝淵
9	外傷性脳損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、貝淵
10	脊髄損傷の運動・知覚機能の症状	5	講義、能村
11	脊髄損傷の運動・知覚機能	5	講義、能村
12	脊髄損傷：運動・知覚機能回復	5	講義、能村
13	脊髄損傷：運動・知覚機能代償	5	講義、能村
14	脊髄損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、能村

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書	目でみるリハビリテーション医学第２版	上田　敏	東京大学出版会	1994、3800円
	身体機能作業療法学	岩崎テル子編	医学書院	2005、4700円
参考書				
その他の資料	配布資料			

【評価方法】

出席点：10%
Quiz　：30%
期末試験：60%

【履修上の留意点】